

会議の経過〈要旨〉令和6年3月25日

事務局	本日は、ご多忙のところ、あま市地域包括支援センター運営協議会にご出席賜りありがとうございます。ご案内の時間がまいりましたので、只今より始めさせていただきます。 この運営協議会は「あま市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条に基づき公開で開催いたします。また、同要綱第7条に基づき、本日の運営協議会終了後、会議録を作成し、市公式ウェブサイトへ掲載することとなっておりますのでご承知おきください。 また、本日、井村委員、下方委員及び服部委員より欠席の連絡がありましたので、ご報告させていただきます。 はじめに、市長よりご挨拶を申し上げます。
市長	(あいさつ)
事務局	ありがとうございました。尚、市長につきましては、他に公務がございますのでここで退席させていただきます。宜しく願いいたします。 続きまして、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。 ・学識経験者といたしまして - 元 日本福祉大学准教授 木全 委員でございます。 - 歯科医師連絡協議会代表 渡邊 委員でございます。 - 薬剤師会代表 藤井 委員でございます。 ・地域における相談事業等を担う関係者といたしまして - 居宅介護支援事業者代表 坂本 委員でございます。 ・被保険者 といたしまして - 老人クラブ連合会会長 谷川 委員でございます。 - 女性の会会長 濱島 委員でございます。 続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。 福祉部長の後藤、高齢福祉課主幹の中井、課長補佐の林、同じく課長補佐の岩間、地域包括支援センター係長の田中、同じく係長の杉本、同じく係長の川村、健康推進課長の吉川、課長補佐の^{つのだ}角田、社会福祉協議会地域包括支援センター課長の猪飼、課長補佐の小野、海部医療圏在宅医療・介護連携支援センターコーディネーターの山田、最後になりますが高齢福祉課長の菱田でございます。

	それでは、まず、初めに資料の確認をお願いいたします。 1 次第 2 委員名簿 3 あま市地域包括支援センター運営協議会要綱 4 資料1 令和5年度あま市地域包括支援センター事業経過 5 資料2 令和6年度あま市地域包括支援センター事業計画 参考資料としまして 6 ふれあいケアパス 7 生活支援コーディネーターだより 8 地域のお宝集 の8点でございます。不足などはございませんでしょうか？ 続きまして、議題に入らせていただきますが、本日、会長の井村委員がご欠席の為、副会長の木全委員に議事の進行をお願いしております。木全委員よろしくお願いします。
副 会 長	それでは議事の進行をさせていただきます。 はじめに、「議題（1）令和5年度あま市地域包括支援センター事業経過について」を議題とします。 事務局から説明をお願いします。
事 務 局	資料1 説明
副 会 長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑がある方、挙手をお願いいたします。
委 員	高齢福祉課をはじめ社会福祉協議会とともに全市民を対象にきめ細かい内容にまで奔走していただき、改善できるところは少しずつしているなど感じます。 細かいことですが、少し教えていただきたいです。6ページ、海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）とあり、実績として相談件数、会議・ワーキンググループとありますが、冒頭の説明に「多職種が連携して支える安心な広域のまちづくり～地域の人々がいつまでも健やかに心豊かに暮らせるために～」平成30年4月にあま医師会及び津島医師会の協力のもと、7市町村で共同設置とあります。相談件数で訪問歯科診療調整20件とあり、地域医療連携は42件とあります。また、薬剤師さんも1件とありますが冒頭の説明で海部歯科医師会、津島歯科医師会、薬剤師会というのが抜けています。きちんと入れて書き直して欲しいと思います。

副 会 長	事務局いかがですか。
事 務 局	調べて書き直したいと思います。
委 員	きちんと調べて欲しいです。我々、歯科医師会や薬剤師会の活動が見えてなければ、海部医師会及び津島医師会だけでいいですが、そういう枠組みではなく、やるときはみんなでやろうよということでみんなで集まっているわけですから。毎回、こういう文言で終わっていますがそれではいけないと思います。医療と介護連携という会議や研修会ではいつでも我々が呼ばれていますが、こういう書き方だと我々の協力体制が悪いのかと思われてしまう。去年からの活動状況など調べて、下がっているなら仕方ないが、教えていただきたいです。
副 会 長	委員の指摘を受けて、介護と医療の連携について調べていただいて、記載していただくということで事務局よろしいですか。
事 務 局	はい。
副 会 長	他にありますか。
委 員	5 ページでファシリテーターとありますが、これはどういう役割か教えてください。。
事 務 局	モデル事業に参加したグループホーム「ポプラ」、伊福自主防災会、危機管理課、高齢福祉課でパネルディスカッションをしましたが、その時の司会進行役を高齢福祉課がしました。
委 員	分かりました。

副 会 長	その他にいかがですか。 質疑がないようですので、議題（１）を終結し、次に、「議題（２）令和６年度あま市地域包括支援センター事業計画について」を議題とします。 事務局より説明をお願いします。
事 務 局	資料２説明
副 会 長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑がある方、挙手でお願いいたします。
委 員	ふれあいカフェと青空カフェの役割の違いは何ですか。
副 会 長	戻りますが、事務局お願いします。
事 務 局	あま市でふれあいカフェとしていますが全国的には認知症カフェと言っています。１１ページに記載しているとおり、認知症カフェは認知症の方とその家族、地域住民の方などが集い、情報交換、レクリエーションをして楽しい時間を過ごす通いの場とあります。そのため、ふれあいカフェは認知症の方とその家族が地域住民と一緒に気軽に通える場、社会参加の場となることを目的とし、月１回程度開催しています。 青空カフェは、認知症やふれあいカフェの周知啓発とボランティアの人材育成に重点を置いているので、期間を区切った開催としています。
委 員	ほぼ、分かりました。自分もそこに参加してみないとわからないということだと思います。時間を作ってそういうところにも参加して実態を知っていただければいけないなと思いました。
委 員	もう一つよろしいですか。 介護予防は来年度からどこが担当になりますか。
事 務 局	来年度から高齢福祉課が担当していきますが、健康推進課とも協力し、一体的にあま市の介護予防を進めていく予定です。
委 員	実績において、総数で記載していますが、もう少し細かいデータがないと次年度の計画がこれでよいかの判断が難しいので教えていただきたいです。
事 務 局	高齢者の健診結果の分析において、口腔、栄養、認知症に課題があるとの分析結果を次年度計画に反映させています。はつらつクラブの内容だけでなく、リーフレット配布でも口腔、栄養については引き続き実施し、今年からフレイル予防として閉じこもり予防についてもリーフレットを配布していますのでそれについても引き続き実施していく予定です。
委 員	どの項目がどう変化しているのか細かく実態を把握して次年度の計画を立てていくと良いと思います。

副 会 長	細かなデータは把握していると思いますので、それを反映していただくとよいと思います。 その他いかがですか。 質疑がないようですので、以上をもちまして、本日の議題はすべて終了いたしました。 「その他」に入らせていただきますが、事務局の方から何かありますか。
事 務 局	特にございません。
委 員	その他で質問いいですか。
副 会 長	その他で質問どうぞ。
委 員	コロナ化で敬老会が中断したが、状況が立ち直ってきた今後はどういう方針か教えてください。
事 務 局	敬老会については平成 30 年に対象者の年齢を見直した経緯はあるが、それでも年々対象者が増えていますので、会場の確保が難しい状況です。コロナ禍において式典という形ではなく、88 歳の方に記念品を贈呈する形に変更しています。今後もしばらくは対象者が増えていきますので、記念品の贈呈を引き続き実施していく予定です。 以前は、式典の幕間で医師、歯科医の方に健康についてのお話をさせていただいていた経緯がありますので、健康についての周知は必要と考えています。 式典という形は難しいですが、高齢福祉課で実施しているイベントや講演会等でそういった機会を設けることは考えたいと思います。
委 員	敬老会といった場に出てこられる人はある程度元気な人ではあり、そういった元気な人同士の出会いから今般のような震災時の連携が生まれていき、大きな意味での地域づくりになっていくと考えられます。贈呈品がどのようなことではなく、お互いに元気か確認し合える場といった大きな枠組みで敬老会を考えていただきたいと思います。
副 会 長	委員より、コロナが 5 類に移行し、能登の震災があり、状況が大きく変わりつつある中で対応していただければと思います。 以上で、本日のあま市地域包括支援センター運営協議会を閉会させていただきます。